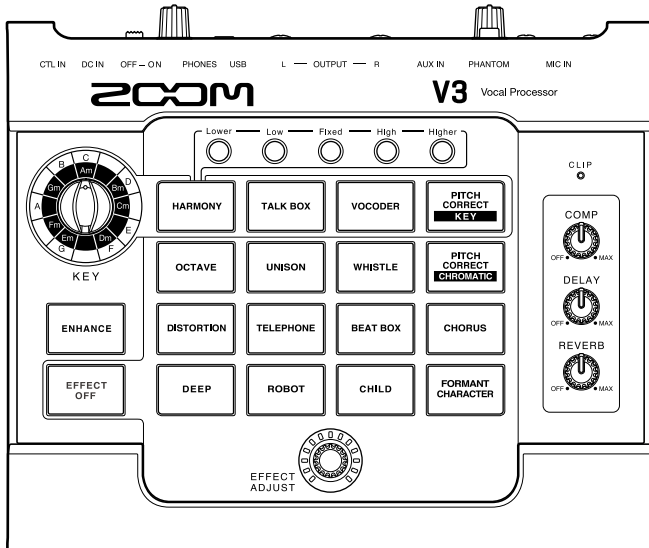


ZOOM®

V3

Vocal Processor



オペレーションマニュアル

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOMのWEBサイト (www.zoom.jp/docs/v3) からダウンロードできます。このページには、PDF形式とePub形式のファイルがあります。PDFは、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。ePubは、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式で電子書籍リーダーで読むことができます。

© 2021 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

はじめに

このたびは、ZOOM ボーカルプロセッサー **V3** をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

V3 は声を変化させる機能を多数搭載しており、簡単な操作で誰でも存在感のあるボーカルサウンドが得られます。

音量と明瞭感を調節した後、ケロケロボイスにしたりハモリや残響などを加えることができるレコーディングやライブパフォーマンスに最適なボーカルプロセッサーです。

未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

■ **V3** の主な特長

コンパクトボディー

ボーカリストに必要な機能を持ち運びに便利なコンパクトボディーに凝縮しました。卓上やマイクスタンドに取り付けてご使用ください。

簡単操作で音作り

つまみを回してスイッチを押すだけで簡単に音作りが楽しめます。

歌いやすさをアシスト

コンプレッサーで音量を整えエンハンスで明瞭感を加えることで歌いやすさをアシストします。

エフェクト、ディレイ、リバーブ

ボーカリスト用に最適化したエフェクトは、音程が階段状に変化するケロケロボイス（ピッチコレクト）やロボットボイス、曲調（KEY）の設定に合わせて3度や5度のハモリも自動で生成するハーモニーや攻撃的なディストーションなど16種類から選択可能です。

ディレイとリバーブはエフェクトと同時に使うことができます。

USB オーディオインターフェイス

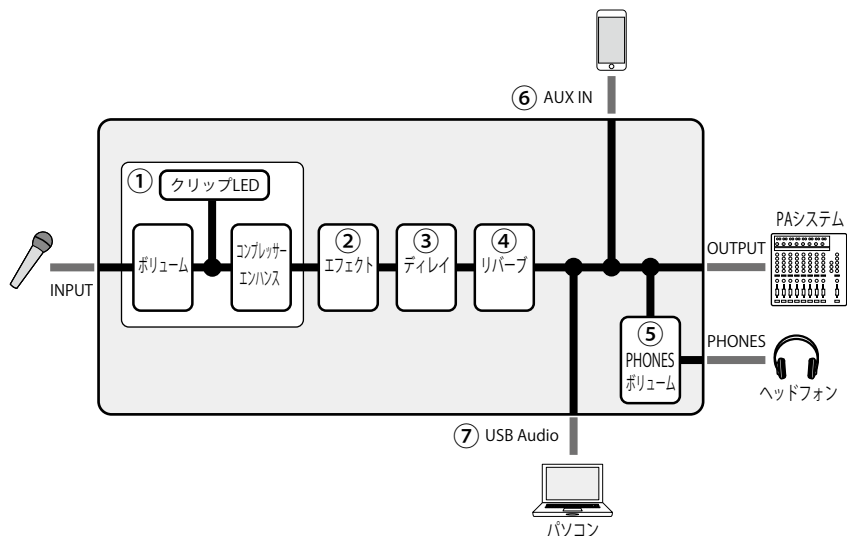
2IN/2OUTのオーディオインターフェイスとして利用可能です。

目次

はじめに.....	2	音量と音質を調節する.....	9
V3 の構成	3	エフェクトを使用する.....	10
各部の役割と名称.....	4	オーディオインターフェイス機能を使う.....	13
接続する.....	6	本体の設定をする.....	14
電池を入れる.....	8	故障かな？と思う前に.....	15
電源を入れる.....	8		

V3の構成

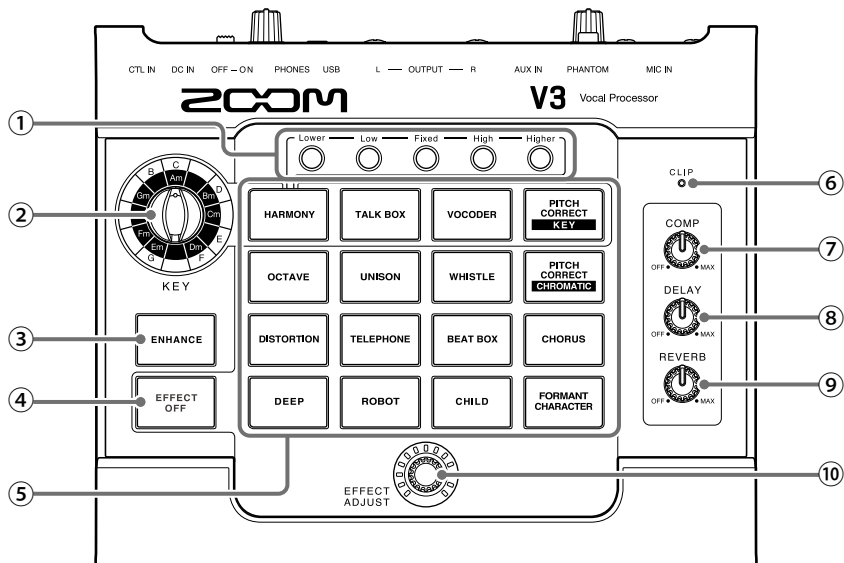
■ 信号の流れ



- ① マイクから入力する音量や音質を調節します。
(→ 9 ページ「音量と音質を調節する」)
- ② 声を加工したり、ハーモニーを加えたりすることができます。
(→ 10 ページ「エフェクトを使用する」)
- ③ ディレイ効果を加えます。
(→ 12 ページ「ディレイを調節する」)
- ④ リバーブ効果を加えます。
(→ 13 ページ「リバーブを調節する」)
- ⑤ ヘッドフォンの音量を調節します。
(→ 9 ページ「音量と音質を調節する」)
- ⑥ スマートフォン、携帯音楽プレーヤーなどの音声を取り込むことができます。
- ⑦ オーディオインターフェイス機能でパソコンと音声データのやり取りができます。
(→ 13 ページ「オーディオインターフェイス機能を使う」)

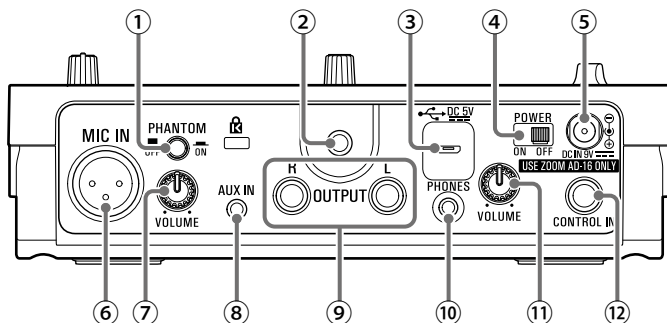
各部の役割と名称

■ フロントパネル



- ① **ハーモニースタイルボタン**
ハーモニーを選択します。
- ② **キーセレクトノブ**
ハーモニーやピッチ補正に使用する曲調（キー）を選択します。
- ③ **エンハンスボタン**
エンハンス機能をオン／オフします。
- ④ **エフェクトオフボタン**
エフェクトをオフします。
- ⑤ **エフェクトセレクトボタン**
エフェクトを 16 種類の中から選択します。
- ⑥ **クリップインジケータ**
入力音の状態や電源のオン／オフ、電池残量を表示します。
- ⑦ **コンプレッサーノブ**
コンプレッサーの効き具合を調節します。
- ⑧ **ディレイノブ**
ディレイの効き具合を調節します。
- ⑨ **リバーブノブ**
リバーブの効き具合を調節します。
- ⑩ **エフェクトアジャストノブ**
エフェクトの効き具合を調節します。

■ リアパネル



① PHANTOM スイッチ

+48 V のファンタム電源の供給をオン/オフします。
マイク (ZOOM SGV-6) やファンタム電源が必要なコンデンサーマイクなどを使用する場合は、オンに設定します。

② マウントアクセサリ取り付け穴

マウントアクセサリ (ZOOM HRM-7/HRM-11) を取り付けするためのネジ穴です。

③ USB (Micro-B) 端子

パソコンを接続します。V3 をオーディオインターフェースとして使用したり、V3 のファームウェアをアップデートできます。モバイルバッテリーなどを接続して電力供給もできます。

④ 電源スイッチ

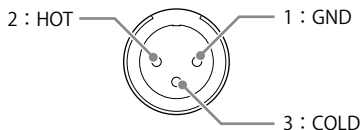
電源をオン/オフします。

⑤ DC9V AC アダプター端子

専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を接続します。

⑥ 入力端子

マイクを接続します。



⑦ ポリウムノブ

マイクの入力音量を調節します。

⑧ AUX IN 端子

携帯音楽プレーヤーなどを接続します。

⑨ 出力端子

ミキサーなどの PA システムやレコーダーなど、音のバランスを調整する音響機器と接続します。
モノラルで使用する場合は、OUTPUT L 端子に接続します。

⑩ PHONES 端子

ヘッドフォンを接続します。

⑪ PHONES ポリウムノブ

ヘッドフォンの音量を調節します。

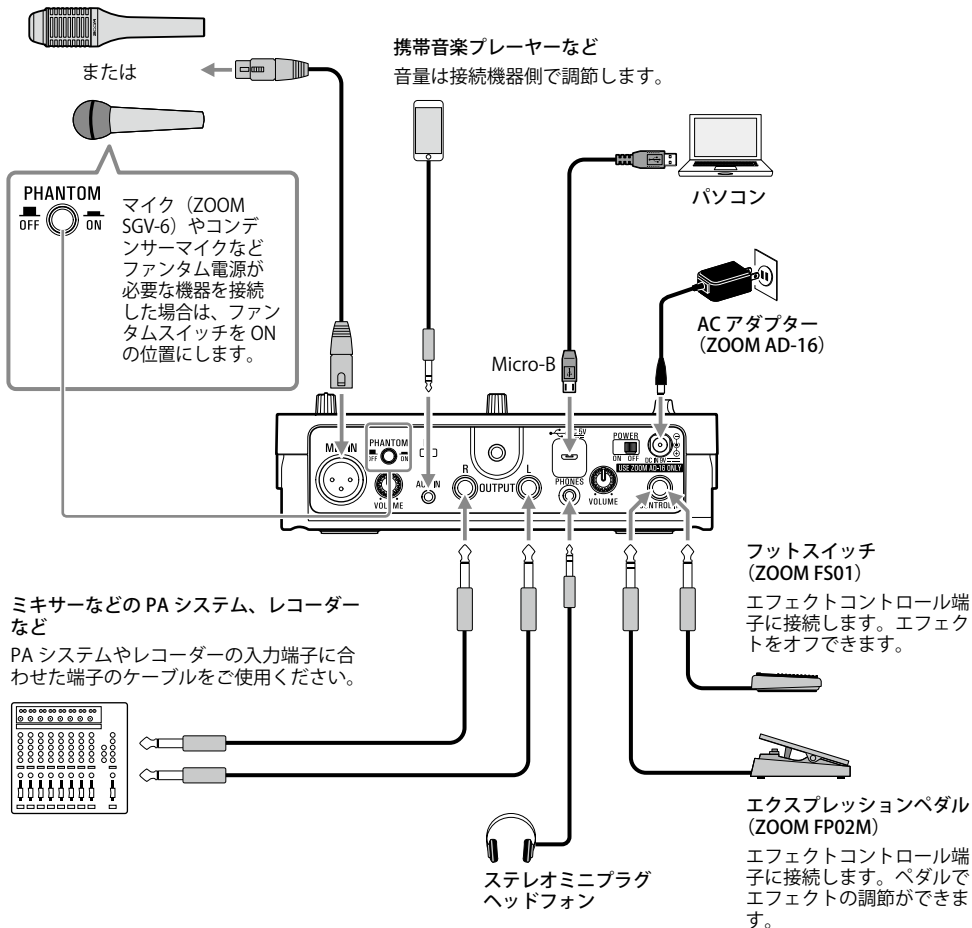
⑫ エフェクトコントロール端子

エクスプレッションペダル (ZOOM FP02M) を接続すると、ペダルでエフェクトの調節ができます。
フットスイッチ (ZOOM FS01) を接続すると、スイッチを押してエフェクトをオフできます。

接続する

■ 接続例

マイク (ZOOM SGV-6 または市販のマイク)
マイクケーブルで入力端子に接続します。

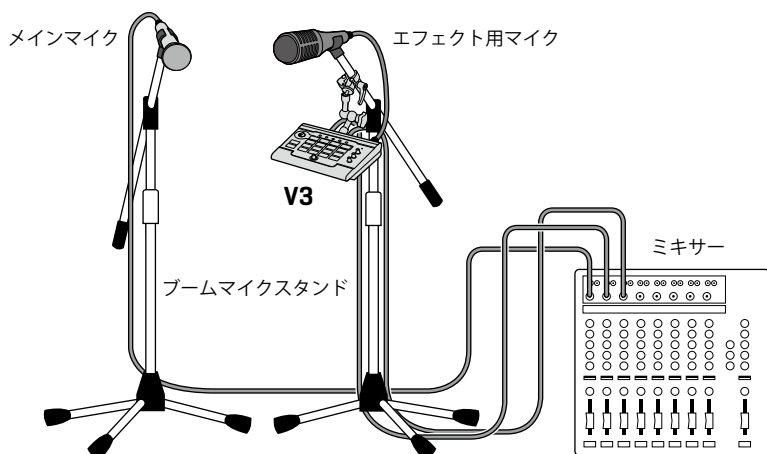


NOTE

ファンタム電源に対応していない機器に接続する場合は、ファンタムスイッチを必ず OFF の位置にしてください。機器が破損することがあります。

■ メインマイクとエフェクト用マイクの使用例

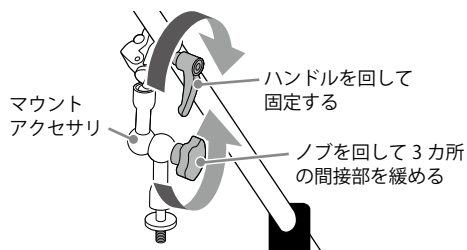
ライブパフォーマンス時など、通常はメインマイクを使い、ケロケロボイスやボコーダーサウンドにしたいフレーズだけエフェクト用マイクを通して **V3** を使用する場合があります。



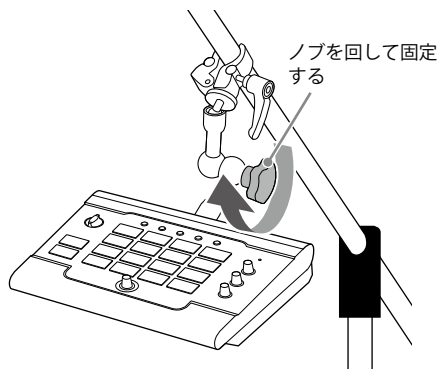
■ ブームマイクスタンドへの取り付け方

マウントアクセサリ (ZOOM HRM-7/HRM-11) を使用すると、**V3** をブームマイクスタンドへ取り付けることができます。

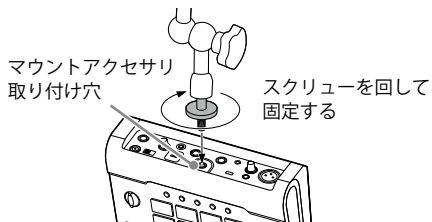
1. マウントアクセサリをマイクスタンドのブーム部に取り付ける



3. V3を好みの角度に調整して、マウントアクセサリを固定する

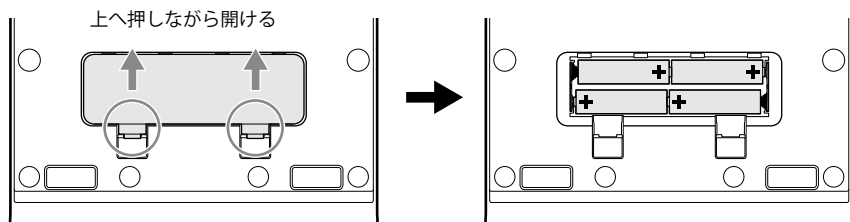


2. マウントアクセサリにV3を取り付ける



電池を入れる

製品底面の電池ボックスの蓋を開け、単三電池を4本入れてください。



NOTE


- ・ 電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく設定してください。(→ 14 ページ「本体の設定をする」)
- ・ 電池の残量が少なくなると、入力の有無にかかわらず CLIP が赤点灯し、その後赤点滅に変わります。新しい電池と交換してください。

HINT

USB 端子からの電源供給でも動作します。

電源を入れる

1. 出力機器の音量を最小にする

2.  を "ON" にする

V3 の電源が入り、 CLIP が緑色に点灯します。

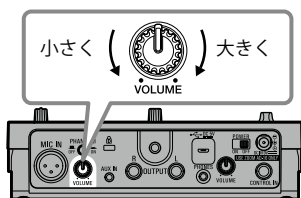
3. 出力機器の音量を上げる

ECO モードについて

初期設定では ECO モードが "ON" に設定されており、操作が行われないうまま 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。(→ 14 ページ「本体の設定をする」)

音量と音質を調節する

■ マイクからの入力音量を調節する



歌いながら **CLIP** が緑色に点灯するように調節します。

NOTE

エフェクトを正しく動作させるためには、マイクからの入力音量が適切になるように調整してください。

- CLIP**
- 赤点灯：音量が大きい
 - 緑点灯：音量が適切
 - 消灯：音量が小さい

■ 音量のばらつきを抑える（コンプレッサー機能）

一定のレベルを超えた入力音を圧縮して音を小さくし、全体の音量をそろえることができます。

1. **COMP** を回す

右に回すと効果が強くなります。左に回しきるとコンプレッサー機能がオフになります。

コンプレッサー機能について

例えば、1曲の中でシャウトなどの大きな声やささやくような小さな声で歌う場合、大きな声に音量を合わせると小さな声が聞こえなくなってしまいます。大きな声の音量を抑えることで全体の音量差を少なくし、小さな声も聞こえやすくすることができます。

■ 声の輪郭をはっきりさせる（エンハンス機能）

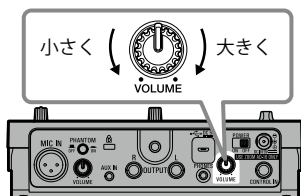
1. **ENHANCE** を押して点灯させる

エンハンス機能がオンになります。

エンハンス機能には2つの効果があります

- ・ **声の輪郭をはっきりさせる**：歌の高音域を強調することによって歌の輪郭をはっきりさせ、バンドの音にうもれないようにします。
- ・ **サ行の音などの歯擦音を抑える**：歯擦音とは、サ行などを歌うときに歯の隙間から漏れる音です。マイクの音量を上げたときに気になる歯擦音を抑えることによって、聞きやすい声にすることができます。

■ ヘッドフォンの音量を調節する



エフェクトを使用する

ピッチ補正、ピッチシフト、ボコーダーなど、声を加工したり、曲調（キー）の設定に合わせて自動でハーモニーを生成することができます。また、加工した声やハーモニーにディレイやリバーブなどのエフェクトを加えることもできます。

ハーモニーやピッチ補正に使用するキーを選択します。

キーの設定に合わせて自動でハーモニーを生成します。
→ 12 ページ「HARMONY の曲調（キー）と構成音を設定する」

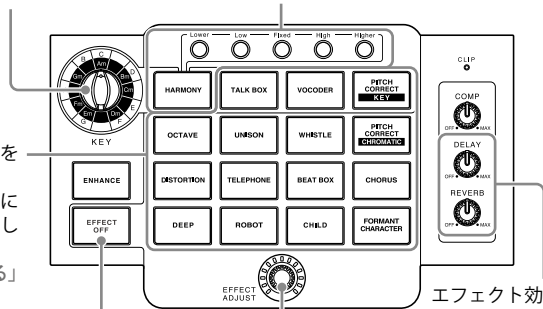
キーに合わせてピッチの補正をしたり、子供のような声やボコーダーを使用した声、原音に歪みを加えるなど、声を加工します。

→ 10 ページ「声を加工する」

エフェクトをオフします。

エフェクトの効き具合を調節します。

エフェクト効果を加えた声に、ディレイやリバーブ効果を加えます。
→ 12 ページ「ディレイやリバーブ効果を加える」



NOTE

エフェクトを調節すると、調節した状態でエフェクトごとに保存されます。

■ 声を加工する

1. エフェクトセレクトボタンを押す

押したボタンが点灯しエフェクトが選択されます。

2. を回す

エフェクトを調節します。


ボタン	説明	調節
HARMONY**	設定したキー * に合わせて自動でハーモニーを生成します。生成するハーモニーの音程はハーモニースタイルボタンで設定します。	原音とハーモニーのバランス
TALK BOX**	トーク・ボックスサウンドの効果が得られます。設定したキー * に合わせてピッチを補正します。TALK BOX のピッチ補正はメジャースケールに ♭3 を加えた、またはナチュラルマイナースケールに ♭5 を加えたブルーノートスケールに従います。	ピッチの補正量

ボタン	説明	調節
VOCODER**	ボコーダーサウンド効果が得られます。 設定したキー * に合わせてピッチを補正します。	ピッチの補正量とオクターブ設定
PITCH CORRECT KEY**	設定したキー * に合わせてピッチを補正します。軽い音程補正から音程を階段状に変化させる機械的な効果（ケロケロボイス）まで調整可能です。	ピッチの補正量
OCTAVE	1 オクターブ下 / 上の声を加えます。	原音とエフェクト音のバランス
UNISON	ピッチやタイミングを微妙にずらした音をミックスすることで、2 回歌って重ねたような効果を得ることができます。	エフェクト音のミックス量
WHISTLE	歌うだけで口笛を吹いたかのような効果が得られます。	原音のミックス量 / 口笛のオクターブ
PITCH CORRECT CHROMATIC**	半音ごとにピッチを補正します。軽い音程補正から音程を階段状に変化させる機械的な効果まで調整可能です。キーが分からない場合や転調の多い曲におすすめです。	ピッチの補正量
DISTORTION	声を強く歪ませるディストーション	歪みの量
TELEPHONE	レトロな質感を演出するテレフォンボイス	効果のかかる周波数帯域
BEAT BOX	ヒューマン・ビートボックスに適した迫力ある音質に補正します。	ブースト量
CHORUS	厚みのある柔らかいコーラス	エフェクト音のミックス量
DEEP	声の高さとキャラクターを大きく変化させ、深みのある太く低い声に加工します。	声のキャラクター
ROBOT**	ロボットボイスに加工します。	ロボットボイスの音の高さ
CHILD	声の高さとキャラクターを大きく変化させ、子供のような高い声に加工します。	声のキャラクター
FORMANT CHARACTER	音程を変えずに声のキャラクターを変化させます。	声のキャラクター エフェクトアジャストノブを中央にすると元の声に戻ります。

* キーの設定について詳しくは、12 ページ「HARMONY の曲調（キー）と構成音を設定する」の手順 1 をご覧ください。

** 基準ピッチの設定（14 ページ「本体の設定をする」）が反映されます。

HINT

エクスペリションペダル（ZOOM FP02M）を接続すると、ペダルを操作することでエフェクトを調節することができます（ の操作と同じ効果）。また、フットスイッチ（ZOOM FS01）を接続すると、スイッチの操作でエフェクトをオフできます。

■ HARMONY の曲調（キー）と構成音を設定する


エフェクトの HARMONY を選択したときに、ハーモニーは 5 種類から 2 つを選択でき、キーの設定に合わせて自動でハーモニーを生成します。

1. を回す

キーを選びます。

キーは楽譜の調号で判断することもできます。

メジャーキー C F B^b E^b A^b D^b



マイナーキー Am Dm Gm Cm Fm B^bm

メジャーキー C G D A E B F[#]




マイナーキー Am Em Bm F[#]m C[#]m G[#]m D[#]m

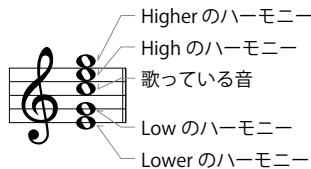
曲調（キー）とは？

曲を構成する 7 つの音階で、明るい音階はメジャーキー、暗い音階はマイナーキーと呼ばれます。キーが始まる音階（A～G）がキーの名前となります。例えば「ド」から始まる明るい 7 音階（ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ）は C メジャーキー、「ラ」から始まる暗い 7 音階（ラ、シ、ド、レ、ミ、ファ、ソ）は A マイナーキー（Am）と呼ばれます。

2. 、、、 または を押す

 を押すたびに、大 → 中 → 小 → オフの順番で、音量と明るさが変わります。ハーモニーは 2 つまで選ぶことができます。3 つめを選ぶと、最初に選んだハーモニーをキャンセルします。

ハーモニー	生成されるハーモニー音
Higher	+ 6 度または + 5 度
High	+ 4 度または + 3 度
Fixed	選択したキーのルート音（固定）
Low	- 4 度または - 3 度
Lower	- 6 度または - 5 度



Higher のハーモニー
High のハーモニー
歌っている音
Low のハーモニー
Lower のハーモニー

選択したキーに合わせて、自動的にハーモニーを生成します。

ハーモニーで付加される音程について

「度」とは、基準になる音階から数えて何音めかを示します。例えば「Higher」を選択した場合、歌の音程に合わせて +5 度または +6 度を自動的に選択してハーモニーを生成します。

-8 -7 -6 -5 -4 -3 -2 基準 +2 +3 +4 +5 +6 +7 +8
ド レ ミ ファ ソ ラ シ (ド) レ ミ ファ ソ ラ シ ド

■ ディレイやリバーブ効果を加える

ディレイを調節する

山びこのような効果が得られます。

1. を回す

右に回すと効果が強くなります。左に回しきるとディレイ効果がオフになります。

リバーブを調節する

残響音を加えることで、広がりや奥行きを与えます。

1.  を回す

右に回すと効果が強くなります。左に回しきるとリバーブ効果がオフになります。

オーディオインターフェース機能を使う

■ ドライバをインストールする

Windows

1. zoomcorp.com からパソコンに「ZOOM V3 Driver」をダウンロードする

最新の「ZOOM V3 Driver」は上記 WEB サイトからダウンロードできます。
ご使用の OS 環境に対応するドライバをダウンロードしてください。

2. インストーラーを起動して、ドライバをインストールする指示に従って「ZOOM V3 Driver」をインストールします

詳細なインストール手順については、ドライバパッケージに同封されている「InstallationGuide」を参照してください。

USB バスパワーの給電能力が低い場合や、アダプターで動作させたい場合には、専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を使用してください。

Mac、iOS/iPadOS デバイス

Mac、iOS/iPadOS で使用する場合、ドライバは必要ありません。

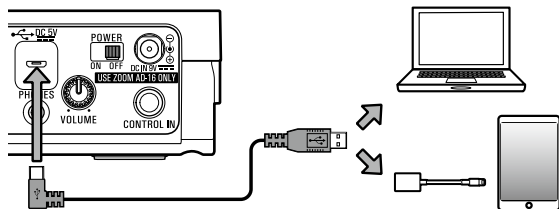
■ パソコンや iOS/iPadOS デバイ스에 接続する

1. **V3** とパソコンまたは iOS/iPadOS デバイスを USB ケーブルで接続する

データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。


USB 端子からの給電も可能です。

充電専用ケーブルを使用した場合、給電以外の機能は使えません。



iOS/iPadOS デバイスと接続するには

- Lightning - USB カメラアダプタ / Lightning - USB 3 カメラアダプタを使用してください。
- **V3** を専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) で動作させてください。

2.  を "ON" にする






V3 が起動し、iOS/iPadOS デバイ스에 接続されます。


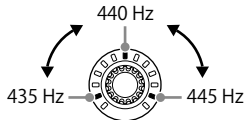




パソコンの場合は、手順 3 に進んでください。

3. パソコンの場合は、サウンドデバイスに **V3** を設定する





本体の設定をする

設定項目や設定値は下表をご覧ください。

- 、 または  を押しながら  を "ON" にする
 押したボタンが点滅します。
-  を回す
 点灯している LED の位置が設定値となります。
- 点滅しているボタンを押す
 設定が保存され、**V3** が再起動します。
 点滅していないボタンを押すと設定をキャンセルします。

設定項目と 起動時のボタン	設定範囲	説明
基準ピッチ調整 	 <p>440 Hz 435 Hz 445 Hz 1 Hz きざみで調節できます。</p>	声のピッチ補正をするときや、付加されるハーモニーの基準ピッチ*を調整します。 *演奏の基準にする「A」(ラ)の音の高さで、単位は Hz (ヘルツ) で表示されます。 V3 の基準ピッチを演奏する楽器の基準ピッチと合わせることで、声やハーモニーのピッチを合わせることができます。
電池設定 	ニッケル水素電池  <p>アルカリ電池 リチウム電池</p>	電池残量を正確に表示するために、使用している電池の種類を正しく選択します。
ECO モード設定 	 <p>オフ オン</p>	操作をやめてから 10 時間経過すると自動的に電源が切れるように設定します。

■ 工場出荷時の設定に戻す

-  を押しながら  を "ON" にする
 押したボタンが点滅します。
-  を押す
 工場出荷時の設定に戻し、**V3** が再起動します。  以外を押すと初期化をキャンセルします。
 設定初期化を実行すると、すべての設定が工場出荷時の設定に書き換えられます。この操作は慎重に行ってください。

故障かな？と思う前に

電源が入らない

- ・電源スイッチが“ON”になっていることを確認する。(→8ページ「電源を入れる」)
- ・ACアダプターが正しく接続されているか確認する。(→6ページ「接続する」)
- ・電池使用時は、正しく電池が入っているか確認する。(→8ページ「電池を入れる」)
- ・新しい電池と交換する。(→8ページ「電池を入れる」)

音が出ない、非常に小さい

- ・接続を確認する。(→6ページ「接続する」)
- ・出力機器の音量を上げる。
- ・ヘッドフォンを使用している場合は、ヘッドフォンの音量を上げる。(→9ページ「ヘッドフォンの音量を調節する」)

ノイズが多い

- ・マイクケーブルが正常であることを確認する。
- ・ZOOM純正のACアダプターを使用する。(→6ページ「接続する」)

音が変に歪む／クセの強い音色になる

- ・入力音量を適切な音量に調節する。(→9ページ「マイクからの入力音量を調節する」)
- ・コンプレッサーのかかり具合を調節する。(→9ページ「音量のばらつきを抑える(コンプレッサー機能)」)

エフェクトの効果が得られない

- ・エフェクトアジャストノブを調節する。(→10ページ「エフェクトを使用する」)
- ・エフェクトがオフになっていないことを確認する。(→10ページ「エフェクトを使用する」)

電池の消耗が早い

- ・マンガン電池を使用していないか確認する。連続使用可能時間は、アルカリ電池で約3時間半。
- ・電池の設定を確認する。
電池の残量表示をより正確に行うには、使用している電池に設定を合わせる必要がある。(→14ページ「本体の設定をする」)
- ・電池の特性上、気温が低い場所で使用すると消耗が早くなる。

USBケーブルでパソコン・スマートフォン／タブレットに接続しても認識されない

- ・ZOOMのWEBサイト(zoomcorp.com)で対応OSを確認してください。
- ・充電専用ケーブルを使用していないか確認してください。

- ・Windows®は、Microsoft®社の商標または登録商標です。
- ・Mac、iPadOSは、Apple Inc.の商標または登録商標です。
- ・iOSは、米国をはじめとする国々におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用しています。
- ・文中のその他の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。
- * 文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。



株式会社ズーム

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com